

公立・公的病院 統廃合撤回へ

コロナ対策に全力こそ

厚労省がねらう440の公立・公的病院の統合再編計画に対し、各地で医療従事者と住民らが共同して地域医療を守る取り組みが広がっています。新型コロナウイルス対策が焦点の課題となることで、「統廃合計画は撤回し、感染症対策に全力をあげていくべきだ」と求めています。
(笹島みどり)

各地で広がる共同行動

「統廃合の対象病院の労組に『反対の運動を一緒にやろう』と呼びかけようと、自治労本部にも働きかけ、県民集会を成功させた」

全労連など6団体で構成する「公立公的病院等再編・統合阻止共同行動」が東京都内で26日に開いた集会で、鳥取県医労連の代表がこう発言しました。

鳥取県では、四つの病院が対象となっており、県医労連などが取り組んだ昨年秋季の自治体キャラバンで

は、これまででは出てこなかった町長らが対応し「病院統廃合で訴えたいことがある」と不安や懸念を語りました。

岩手県では昨年11月結成された「地域医療を守る岩手県連絡会」が、県知事や対象10病院のうち7院長との懇談・要請に取り組みしてきました。

県知事も表明

岩手県では昨年11月結成された「地域医療を守る岩手県連絡会」が、県知事や対象10病院のうち7院長との懇談・要請に取り組みしてきました。

「地域の実情に合わせた形になるよう、国に要請している。質の高い医療体制の構築を進めていく」と述べました。

各病院幹部から「患者から病院がなくなるなどの不安の声が出ている」など不安や批判の声が上がりました。

みえ労連などは、医療・介護を良くするために地域を調査し、提案するなど地域医療を良くする取り組みを広げていく計画です。

病床減らすな

みえ労連などは、医療・介護を良くするために地域を調査し、提案するなど地域医療を良くする取り組みを広げていく計画です。

26日の集会でも、対象病院の中に感染症指定病院が多数あることが報告され、全労連の岩橋祐治副議長は「新型コロナウイルスに対応する体制が、政府や厚労省によって壊されてきた。この事態を前に、これ以上、公立・公的病院の統廃合など許されな

全国保険医団体連合会の代表は、「政府は一般医療機関も新型コロナウイルスを受け入れる方針を出したが、財政支援はない。診療報酬も抑えられ運営は非常に苦しい。財政措置を求めたい」と述べました。

全日本国立医療労働組合の東海北陸地方協議会の代表は、感染症対策の病床は、統廃合で国が減らそうとしている急性期病床に当たると指摘。「公的病院を守る運動は、感染症に対応する体制を求める運動にもなる。むしろ国に整備のための予算措置を求める局面だ」と訴えました。

中央社保協の山口一秀事務局長は、国が統廃合計画を強引に進めようとしているが、反発や共同が広がっていると強調。「幅広い病院や地域住民と連携し、47都道府県で共同行動を立ち上げ、統廃合計画を阻止し、地域医療を守ろう」と呼びかけました。

日本医師会(日)27日、政ナウイルの抜本的な森田進を代表し、来年度し、必要の確保と療養施設が十分が行えるを行うことを要請し、感染拡大に、無保国人を含要と判断人が検査られるよ急を取る指摘。確保する援、マスなどの安た関係業要請などだとして、感染症



公立・公的病院の統合再編を阻止しようと開かれた集会 26日、参院議員会館